

傳設計ニュースレター

CONTENTS

- ◆今、伝えたいこと
～社屋竣工にあたり～
- ◆舞鶴DSビルを通して
リノベーションと向き合う
- ◆新入社員・4人の駆け出し
- ◆大変だ！！
ハイテンションボルトが無い！
- ◆よりよい社会基盤構築に尽力
～株式会社コンステック様～
- ◆「貸会議室」はじめました
- ◆舞鶴探訪(1)
- ◆社員名鑑



今、伝えたいこと ～社屋竣工にあたり～

皆様、こんにちは。今年は九州地方よりも先に、関東・甲信越地方などが梅雨入りするという、珍しい年でした。梅雨は暑くなったり寒くなったり、気温の変動が激しくありますので、お体には十分にお気をつけください。

さて、一年近くに亘りお伝えしてまいりました、弊社本社ビルの改修ですが、先日無事に竣工し、移転を行いました。移転の際には、ご迷惑をおかけしました。また、内覧会には多くの方々にお越しいただき、誠にありがとうございました。

さて、内覧会が終わったあと、近くのホテルで「落成式」を行いました。落成式は、工事に携わった方々をねぎらうための会で、今回は建築工事、電気工事、給排水工事をご担当いただいた会社様のみならず、そのほか、数々のご協力をいただいた会社様にもお越しいただきました。

思えば、当初は立地条件からホテルにしようとしていたものを、弊社の本社にしようと考えなおしたのが始まりでした。そこから、設計・工事が始まり、弊社の社員と喧々諤々話をしたり、竣工が延び、各方面へ調整をしている社員を見て、心苦しく思ったりしたこともありました。しかし、たいへんだったのは弊社の社員だけではなく、工事関係者の方々もだったはず。何せ築50年の建物です。実際に建物をはぐってみると、さまざまな問題がでてきました。その都度、問題を解決する話し合いの場を持ったり、夜中に建設会社の社長さんに電話を掛け、確認を取ったりと、誰もが臨戦態勢でした。また、出来てみると、想定していたものと違い、工事のやり直しをお願いしたこともありました。そのような紆余曲折を経て、何とか迎えた落成式。式典の途中、こちらから関係各所にお礼を申し上げ、関係者の方々からも本工事へにまつわるお話をいただいたのですが、今にも誰か泣き出すのではないかというような、暖かい、ほっこりした雰囲気でした。しかし、端から見て、一番危なかったのは私だったようで・・・(笑)。

今回の経験は、古い建物をリノベーションで資産価値を高める手法をご紹介する“リノベーションセミナー”等を開催し、ビルオーナー様のお役に立つことと同時に、業界の発展に寄与したいと考えています。(代表取締役 岩本 茂美)



★落成式にて★

岩本 茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

先般、無事に還暦を迎えました。やめていたお酒をいつの間にか復活させてしまったのですが、一応(?)、健康には気をつけています。新事務所では、私の部屋がある5階まで階段を上がりますよ。社員はエレベーターですがね！



★還暦は家族で旅行へ♪★

★舞鶴DSビルを通してリノベーションと向き合う★

本ビルは、築50年近い建物の改修であるため、当初より独特の悩み・検討事項がありました。

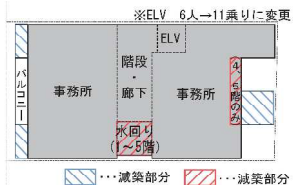
まず既存建物には検査済証がなく、現況を調査すると現在の法律を満たしていないことが分かりました。一番の問題は、指定建蔽率をオーバーしており、面積の調整が必要でした。また、配管のルートなどをどう確保するか、どこまで既存を利用するのか、検討を重ねました。

工事が始まると敷地に残余がなく、廃材の置き場や搬出について施工会社様を悩ませており、解体工事には予想以上の時間がかかりました。また、解体後に既存図では読み取れない問題が分かり、設計や工法について見直しが必要になりました。設備工事でも躯体による制限があり、配管のルートなどをどう確保するか、どこまで既存を利用するのか、検討を重ねました。

本工事では、特に古い建物の改修において既存建物と向き合うことが大切であることが分かりました。

先日の内覧会では、既存建物をご存知の方もおり、「生まれ変わりましたね」というお声を頂きました。『古い建物に新しい価値をプラスして再生する』ということに、設計者としてじっくりと向き合う良い機会であったと同時に、この経験を増加傾向にあるリノベーション事業に今後も繋げていけるように尽力したいと思いました。

また、未熟ながらも多くの方々にお力添えを頂きましたこと、**心より感謝申し上げます。** (中牟田)



★面積の増減調整★

リノベーション時に大切なこと...

- ・既存建物の調査を十分に行うこと。
- ・解体工事後、スケルトンになった状態で再度状態の調査・実測を行うこと。
- ・設計・工法・工事工程の見直しが必要。

★既存建物と向き合うことが重要★

傳設計 設計業務

2019年4月、私たち4名の新入社員が傳設計に入社しました。

入社する以前は、みな学生であったため、「学校」という環境の中で、自分にかかる負担のほとんどを、他の誰かが肩代わりしてくれており、そのおかげで、比較的自由が利く生活を送っていたように思います。しかし、入社してからというもの、「社会」という初めての環境に身を置き、

自分が背負うべき責任の大きさや、その責任をどのように果たしていくかについて、戸惑ってしまう状況がありました。

そのような中で、先輩方からご指導を頂きながら、マナー研修、解体工事で用いる図面の修正作業、社屋の引越しなど、会社に関わる多様な業務に携わることができました。そのおかげで、業務等を通じ、社会人としての作法や傳設計の一員としての気概、建築の設計を学ぶ、非常に充実した「駆け出し」になったと思っています。

そして、入社して3ヶ月と経たない現在、新入社員4名でチームとなり、社長のご指導の下、某公共施設の提案書作成業務にあたることになりました。不慣れながらも、互いに案を出し合いながら、奮闘した日々を過ごしております。社員に設計のノ

ウハウ^{つた}伝えることを理念とし、若手社員の成長に重きを置く傳設計だからこそ、この案件を任せただけのだと思っています。この業務を機に、大きな経験を心得、今後の成長に繋げていきたいと考えています。

今後とも、尽力してまいりますので、我々、新入社員の更なる躍進に、ご期待ください。(松岡)



★新入社員の心象★



★打合せの様子★

★新入社員・4人の駆け出し★

★大変だ！！ハイテンションボルトが無い！！★

最近、ニュースで取り上げられ、ご存知かもしれませんが、鉄骨造には欠かせないハイテンションボルト(高力ボルト)の納期が、なんと8~10ヶ月まで延びているそうです。ハイテンションボルトとは、鉄骨と鉄骨を強い力で締めるボルトのことで、これがないと鉄骨造は建ちません。また、納期が延びると、鉄骨造最大のメリットである、『工期短縮』に影響を及ぼしかねません。

さて、このような事態になった経緯について、協力会社様に説明をして



★ハイテンションボルト★

頂きました。その説明と国土交通省の見解によりますと、どうやら販売用のハイテンションボルトの在庫が枯渇し、注文を受けてから生産するような対応に切り替わったため、納期が遅れているそうなのです。

果たして真相はどうか...。私たち設計者に何ができるのか...。そう考えている矢先、ある協力会社様がタイムリーな製品を開発していらっしゃいました！それは、鉄骨屋根の母屋、小梁の代わりにネット状

の架構をフレームに溶接するもので、15メートル程度の大スパンにも対応できるそうです。これにより、小梁のハイテンションボルトを無くすことが出来ます。

ニュースを見ると、今、建築業界がたいへんな状況であるように見えます。しかし、「ピンチこそチャンス」なのかもしれません。新たな技術革新へ繋げていくために、私たち建築業界で働く者同士、知恵を出し合っていけたら幸いです。(南・堀内)



★ネット上の屋根面★

NEW&HOT TOPIX

株式会社コンステック様は、さまざまな建築物の調査診断から補修補強までを一貫して手掛け、建築物の長寿命化による安全安心な社会環境の提供に努めていらっしゃいます。耐震化対策では、制振補強と言われる地震時の建物振動を抑制させる分野において、2種類のダン



★μVisダンパーシステム★



★B-star工法★

パーを組み合わせた間柱型制振「μVis(ミュービズ)ダンパーシステム」などを自社開発されています。これは、高いエネルギー吸収力により補強設置数を最小化にする事が可能で、コスト面でもメリットがあるとのことでした。

また、近年では文化的に価値が高い歴史的建造物への補修補強も手掛けられています。レンガ造の補



★富岡製糸場★

強では、既存の目地を高強度な素材に置き換える「B-star(ビースター)工法」があり、外観を損ねる事が可能だそうです。2014年に世界遺産として登録された、群馬県の「富岡製糸場」もこの工法が採用され、専門業者として、コンステック様で補強工事を実施されたそうです。(堀内)

★よりよい社会基盤構築に尽力 ~株式会社コンステック様~★

★「貸会議室」はじめました★

さて、弊社の事務所ビルである“舞鶴DSビル”の3Fは、このたび、一般のお客さまにもご利用いただける、貸会議室としてオープンいたしました！

会議室は「なごみA」、「なごみB」の2部屋あり、それぞれ機能が異なります。まず、「なごみA」。こちらは、最大51名収容可能の一般的な会議室で、プロジェクターもご用意しております。人が集まる会議や講習会などにぜひご利用ください。

また、「なごみB」は、講師用1台を含む、計13台のパソコンを設置するパソコン室です。Officeはもちろん、建築系のソフト等(REVIT、ArchiCAD・AutoCAD等)も備えておりますので、BIM教室やOffice講座などにもご利用いただけます。

長い会議なら、サービスのコーヒーでリフレッシュを、またお昼をまたぐようなときは、当ビル1Fのテナントさんにケータリングもお願いできますよ。くわしくは弊社HPをご覧ください。私澤田までお電話ください。(澤田)



★会議室「なごみA」★



★会議室「なごみB」★

社員名鑑 vol.31



氏名：堀内美里
 社歴：2年3ヶ月
 所属：構造設計部
 主な業務：構造設計
 趣味：硬式テニス、プロ野球観戦(ホークス戦)

入社3年目を迎えましたが、入社当時のフレッシュさを継続できるよう「笑う門には福来る」を座右の銘に、過ごしています。ただ、この7月で歳を1つ重ねるので「落ち着きある女性」になりたいと密かに思っています。

私は高校から硬式テニスを始め、現在は週1回テニススクールに通っています。来年のオリンピックイヤーにのっかって、福岡県の公式戦に出場してみようと思っています。また、ホークス戦の観戦も趣味の1つで、上の写真はヤフオクドームに行った時の写真です。最後に、今年は元号が変わり、本社が移転し、住まいも変わり、自分をとりまく環境に変化があったからこそ、仕事はもちろんのこと、勉強・趣味・プライベートすべてを納得できる毎日を過ごしたいと思っています。

★舞鶴探訪 (1) ★

以前、本社があった香椎も歴史のある街でしたが、舞鶴も然り。このコーナーでは、私の独断と偏見(!)で、近隣スポットをご紹介します。

さて、記念すべき第一回は、「なごみ食堂」さん！上の「貸会議室」の記事で、「当ビル1Fのテナントさん」と言ったのは、こちらの食堂のこと。弊社の社長が行きつけの「肉最強伝説」さんの名物大将“キクリン”さんが手がけるお店です。「肉最強伝説」といえば、その名の通り、お肉のお店で有名ですが、こちらは和食系のお店。長浜鮮魚市場直送の海鮮と九州産の野菜を使用しているから、素材そのもののおいしいです。そして、「肉最強伝説」仕込みのお肉も食べられますので、ヘルシー派のあなたにも、ガッツリ派のあなたにも満足できるメニューになっていると思います。大将のオススメはやはり長浜鮮魚市場直送のお魚。夜も営業されています。ぜひ行かれてください。(古屋)



★牛タン塩定食★



★名物大将“キクリン”さん★

◆ 編集後記／／／事務所が移転して初めてのニュースレターとなりました。新しい記事連載も始まり、これを機に、少しずつ改良を重ねていきたいなと思っています。また、舞鶴近辺にはまだまだ疎いので、近隣のお店、スポット情報がございましたら、ぜひぜひお寄せください。／アンケートを同封しておりますので、ニュースレターのご意見、ご感想をお聞かせいただけましたら、幸いです。 (古屋)



「想い・安全・未来をカタチに」
株式会社 傳設計
 DEN ARCH. & ENG. OFFICE

ADD: 〒810-0073

福岡市中央区舞鶴1-6-13 舞鶴DSビル

TEL:092-737-1500 (代表)

FAX:092-737-1501

お手数ですが、ご登録の変更をお願いいたします。

